

詐欺・悪質商法回避術

皆様、最後の【防犯力テスト】を試してみてください。

1. キャッシュカード詐欺盗《キャッシュカードのすり替え》

- 「キャッシュカード」に関する電話があったら、家族や最寄りの警察署等に連絡する。
- 警察官が暗証番号を聞いたり、メモで書かせることは絶対にないことを知っておく。

2. 還付金詐欺《ATMを利用した詐欺》

- 「ATMで手続き」は詐欺。
- 「還付金」がATMで返還されることは絶対にないことを知っておく。
- 公的機関名を出されても信用しない。

3. 架空料金請求詐欺《ハガキやメールによる詐欺》

- 身に覚えのない請求に関するハガキやメールがあった場合には、安易に問い合わせ先に電話等せず、恥ずかしい気持ちがあしあれば捨てて最寄りの警察署や家族に相談する。
- 事業者や公的機関が未納料金等の支払いの為に電子マネーなどを購入させることはないことを知っておく。

4. 迷惑電話防止機器の活用

- 自動通話録音(警告)機能
“着信時” 電話相手に「通話を録音します」などの警告を発します。
“着信中・通話中” 通話中は通話内容を自動録音。着信中に「拒否する」を選ぶことが出来、選ぶと相手方に「この電話はお受けすることが出来ません」と警告を3回流し、自動的に切断。
- 迷惑電話フィルタ機能
「迷惑電話番号データベース」に登録された番号を自動判別して着信を拒否、またはLED等で警告を表示する機能(迷惑電話フィルタ機能)がある。(別途ナンバーディスプレイ契約必要)
「迷惑電話番号データベース」:警察や自治体等から提供された迷惑電話番号のデータベース

5. 利殖勧誘事犯《高配当等をうたった出資勧誘》

- 「未公開株」「社債」「ファンドへの出資」「暗号資産(仮想通貨)」「外国通貨」「FX取引」「先物取引」「海外事業への出資」などは要注意！
- 「絶対に儲かる」「元本保証」「高配当」などの言葉は詐欺を疑う。
- 知人からの紹介でも要注意！

6. 特定商取引等事犯《貴金属類の押し買い商法》

- その場で売り渡すことはせずに別の業者に見積もりしてもらおう。
- 拒否しても相手が居座る場合はすぐに警察に通報する。
- 少しでも「変だな」と思ったら速やかに警察などに相談する

7. 新型コロナウイルス便乗商法《効果の疑わしい商品の販売》

- 相手の話をうのみにしないで、一旦冷静に考える。
- その場で購入しないで、商品を調べたり、家族などに相談する。

■少しでも「変だな」と思ったら速やかに警察などに相談する。

【防犯力テスト】 次の設問に○×で答えてあなたの防犯力を診断してみましょう！

1. 絶体儲かるという話が出たので、公的機関に相談した。
2. 迷惑電話防止機器を利用している。
3. 注文していないものが送られて来たので受け取りを拒否した。
4. 購入する前に商品についてネットで検索してみる。
5. 屋根を修理した方がいいと言われたので、その業者だけでなく他の業者とも相見積もりをとった。

【診断結果】

- が5～4個 → 防犯力がとても高いです！
- が3～2個 → 詐欺や悪質商法被害の危険性があります。対策を見直してみましょう！
- が1～0個 → 危険な状態です！早急に対策を考えましょう！

出所：(公財)全国防犯協会連合会